

## ■短文記述問題(140字以内・各15点)

## 【1】

美術館の主要な機能を、4つに整理して説明してください。

美術館の機能の1つに、作品とそれに関する資料の収集がある。2つ目は所蔵作品の修復や保管を含めた保存とされ、3つ目は作品について広く市民に普及し、学習機会とする教育普及の考え方に基づいた作品展示がある。4つ目は作品や資料に関する学術的な調査研究をすることである。

## 【2】

「アール・ブリュット」について説明してください。

アンフォルメルムの起源の一人、ジャン・デュビュッフエが提唱した「生の芸術」を意味する造語。彼は精神病患者や子供など社会的弱者や美術の制度の外にいる人々が潜在的意識によって生み出した無垢な表現を高く評価した。スイスのローザンヌに専門の美術館があり、近年、世界各地で再評価されている。

## ■長文記述問題(500字以内・各35点)

問題の図版およびテキスト等は、紙面の都合上割愛させていただきます

## 【3】

あなたは、ある展覧会の一般来館者向け解説ボランティアとして、下図の作品解説を担当することになりました。あなたならどのような解説をしますか。以下[A]~[C]の資料をバランスよく利用したうえで、解説内容を記述してください。また、来館者が現代の日本美術により興味を持つ手助けとなるような内容に構成してください。

## &lt;資料&gt;

- [A] (図版)  
山口晃《百貨店圖 日本橋三越》2004年  
紙にペン、水彩 59.4×84.1cm 株式会社三越蔵
- [B] 作品の展示キャプションと作者略歴
- [C] 《百貨店圖 日本橋三越》に関する記事など

## 《解答例》

賑やかにたくさんの人々が描かれたこの絵、建物の断面に様々なシーンが色彩豊に表現されていますね。これは一体何を描いているのでしょうか。よく見ると、「売りつくし夏」とか「日本橋」などの文字が見えます。山口晃は日本橋三越百周年新オープン記念としてこの絵を制作しました。消失点のない平面的な技法は伝統的な日本の絵画スタイルで、有名な《洛中洛外図》と似ています。日本のやまと絵と呼ばれる絵の特徴は、平面的であること、空間の使い方が自由であること、同時に時間軸も自由であることなどが挙げられます。作品をよく

見ていくと、服装も昔のものと現在のものが入り混じり、牛車と自動車と並んだり、昔と今の赤ちゃんが同じプールに入っていたりする様子がありますね。現在の私たちが百年という時間を同時に味わうことができるのです。画面の中の人々は実に生き生きと、それぞれ等しく描かれています。西洋の巨匠絵画に慣れた目には新鮮に映るかもしれませんね。細やかに描かれた表現からは、作品と私たちの日常を接続し、問い直そうとする作家の努力が感じられます。このような姿勢は、他の日本の現代美術家たちの実践からも感じられるのではないのでしょうか。

## 【4】

あなたは、小学校6年生の授業で、以下の作品を題材にワークショップの講師を務めます。事前準備として、子どもたちに向けて作品解説を書くことになりました。資料[A]~[C]をバランスよく利用したうえで、わかりやすく解説してください。その際、子どもたちが自分のみたことに基づいて、十分に咀嚼しながら美術鑑賞ができるように構成して下さい。

## &lt;資料&gt;

- [A] (図版)  
ディエゴ・ベラスケス《ラス・メニーナス》1656年頃  
キャンヴァスに油彩 318×276cm プラド美術館蔵
- [B] 作品の展示キャプションと作者略歴
- [C] 《ラス・メニーナス》に関する資料

## 《解答例》

この絵は、スペインの宮廷画家ベラスケスが描いた集団肖像画です。宮廷画家とは王様に雇われて絵を描く人で、主に王様やその家族の絵一肖像画を描いていました。この絵の主役は、真ん中に立つ王女のマルガリータです。でも、なぜベラスケスは王女以外の人々もたくさん描いたのでしょうか。この絵には、他にも不思議な点があります。肖像画は普通、ポーズをとったものが多いのですが、この絵の人々は今まで動いていたように見えるでしょう。そして何人かの視線はこちらを向いています。実は画面左の筆を持った男がベラスケス自身だと言われています。ベラスケスは何を描いているのか、皆が見ているのは誰なのでしょう。その謎を解くために一人ひとりを見ようとするとき、私たちの視線は右手前の女性(侍女)から順に左へ、そしてベラスケスの右後ろへと自然に導かれます。これは、光の差す方向やアクセントに使われている赤色の影響です。ベラスケスの右後ろには鏡があつて、そこには王様夫妻が描かれています。モデルは王女なのか、王様夫妻なのか、ほかの人たちなのか。誰が誰を見ているのか。この作品に秘められたしかけは、いまだにいろいろな見方を生んでいるのです。

※《解答例》は合格者の解答に一部加筆修正したものです。解答の一例としてご参照下さい。

(裏面に続く)

## ■■採点のポイント■■

### ■短文記述問題（【1】～【2】共通）

美術に関する用語について、正確に理解し、適切な記述がなされているかどうか

### ■長文記述問題

下記の3つのポイントについて、各資料を元に自分なりの解釈で、伝える相手に適切な論を展開しており、妥当であるかどうか

#### 【3】

##### (1)コミュニケーション

美術に詳しくない一般の来館者に向けた解説になっている

##### (2)資料読解・活用

どの資料からも適切に情報を取り出し、美術用語も適切に使用している

##### (3)論理的構成力

現代の日本美術に興味を持つ手助けになっている

#### 【4】

##### (1)コミュニケーション

小学校6年生がわかりやすい解説になっている

##### (2)資料読解・活用

どの資料からも適切に情報を取り出している

##### (3)論理的構成力

子どもたちがより深く考えられるようになっている